

経皮的僧帽弁クリップ術を受けられた方の下肢の除圧と 固定方法に関する調査のお知らせ

【研究の意義】

この研究は経皮的僧帽弁クリップ術を受けられた方の下肢の除圧と固定方法を検討し、看護介入の妥当性や必要性を評価することを目的としています。研究の成果は、治療中の看護の質を向上させる一助となり多くの患者さんの術中看護に役立てたいと思っています。

【研究の対象・期間・内容】

当院において、2018年4月から2019年2月の間に経皮的僧帽弁クリップ術を受けられた患者様を対象としています。調査対象期間内に治療を受けられた患者の診療録から事例ごとに手術前後の皮膚障害の有無、手術前後の神経障害の有無などの入力を行います。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象とするので、患者さんに日常診療以外の負担が生じることはありません。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐために、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。また、本研究の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【利益相反について】

この研究を行うにあたり、特定の企業の支援を受けたり、費用が発生することはありません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院 手術室

担当者 岡部 正美



〒802-8555 北九州市小倉北区浅野 3-2-1

TEL.093-511.2000(代)